

か み

議 会 だ よ り

9月定例会 第11号

平成19年10月25日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1963
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

— CONTENTS —

- 議員定数等調査特別委員会を設置 2
- 臨時議会を開催(7月・8月) 6~7
- 住民の声 届くか(12人が一般質問) 10~15
- この人 ここにあり 16



香美町議会

議員定数等調査特別委員会を設置！！

提案理由

香美町の実態からして、議員定数等はどうあるべきか。議会の権能や民意の反映にまつわる重要な問題であるので議員自ら調査・研究するものであります。

趣旨説明

本会議において今西美憲議会運営委員長から特別委員会設置について説明があり全員賛成で設置しました。

要旨はつぎの通りです。

議長より議員定数等について議会運営委員会に諮問があり協議を行った。

議員定数は、合併協議会において協議され20人と決定し、各旧町議会において議決され、平成16年10月にそれぞれの町にて告示がなされた。この告示がなされると、議員の定数は香美町の条例により定められたものとなる。

また、「香美町議会議員の選挙区等に関する条例」において、香美町議会の議員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数が規定されているので、これらの条例の整理が必要であることなどから議会運営委員会が特別委員会を設置することで合意をみた。

なお本委員会は、議長を除く19人の議員で構成し、委員長に寺川秀志副議長、副委員長に吉田範明議員を選出し、平成20年5月末日を目途に議長のもとに答申を出す予定です。

民意を反映した、適切、妥当な結論を望む



※ご意見等がありましたら、議会事務局にお寄せください。



高く買ってください 売却地旧法務局跡

補正予算

平成19年度一般会計補正予算、特別会計補正予算7議案が上程され、一般会計では地方交付税の減額等が、特別会計では介護保険事業の増額等が提案されました。いずれも原案どおり可決しました。

一般会計

質疑

問 町道新設改良事業費香住通玄寺線の工事請負費、土地購入費は

答 工事費100万円。用地費200万円。測量費60万円です。

問 土地購入の話はどこからの依頼か

答 香住自治区から話があり購入しました。

問 財源がない中で同じような要望があると思うが、購入する決め手となった判断基準は

答 道路事情の緊急性、危険性を考慮して決めました。

問 町道新設改良事業費香住通玄寺線の工事請負費、土地購入費は

答 工事費100万円。用地費200万円。測量費60万円です。

問 土地購入の話はどこからの依頼か

答 香住自治区から話があり購入しました。

問 財源がない中で同じような要望があると思うが、購入する決め手となった判断基準は

答 道路事情の緊急性、危険性を考慮して決めました。

問 消火栓新設改良工事はどこ場所か

答 香住区は境、香住。村岡区は鹿田。小代区は大谷の計4箇所です。

問 除雪費5000万円増加の理由は

答 前3年間の平均で計算しました。

問 嶋地(小代区)残土処分場の使用料が増額になった要因は

答 当初の見込み量より、今年度100t増加が見込まれるので追加しました。

問 残土はこの工事場所からの持ち込みか

答 町道市原黒田線、国道482号線、野間谷えん堤。

問 付近の道路の状態が悪いが改修の予定はあるか

答 道路の舗装も工事費に含まれています。

問 土地購入費は、どの場所か 面積は

答 香住区旧法務局跡地で、面積は820㎡。町が駐車場と倉庫に使っていました。

問 その他処分可能なところは

答 ゆふね会館は建物と土地一体で処分します。また旧村岡高校教員住宅の売却は県と協議しています。

問 地方交付税(普通交付税)7800万円減額をどのように認識しているか

答 19年度の交付税がどうなるのか、把握が出来てなく大きな影響を受けたと認識しています。

問 前年度の剰余金で調整が出来ましたが、交付税の減額は今後の厳しい財政状況の中では大変大きな問題だと認識しています。

問 香住通玄寺線の現場の

答 議案が紛糾しましたので、全議員協議会を開き、町長が経過説明後、陳謝して質疑を再開しました。



香住通玄寺線 中央公民館入口交差点付近

ゆぶね会館売却へ



売却される ゆぶね会館（村岡区）

質疑

問 地域改善事業として県の補助金で建設した施設であるが、補助金の返還についての協議は

答 通常ですと残存価格で計算した補助金を返還しなければなりません。今回は、売却額（土地・建物）を基にした返還額になるよう協議中です。

問 残存価格で計算した返還額と建設時の補助金額は

答 205万4千円です。当初の補助額は、818万5千円です。

問 地元関係者との協議はなされているか

答 地元区長、同和対策の対象者、人権同和教育推進協議会村岡支部とも廃止については、了解済みです。



村岡老人福祉センター

村岡老人福祉センター 社協が指定管理者

質疑

問 社会福祉協議会（以下、社協）が実施する事業だけでなく、部屋などを貸す貸し館業務も実施しているが、その業務はどうするのか

答 社協へ委託し、部屋などの利用料については、町の収入とします。支払い窓口は、地域局か銀行になります。

問 休日や夜間の利用・管理についてはどうするのか

答 社協へ委託し、その費用は、委託料の中の賃金で手当てします。



新たに認定した町道長板新町線

長板バイパス開通で 旧道、町道認定

質疑

問 国道482号（長板バイパス）の今後の工事計画は

答 県の財政状況が悪化しており、計画通りの積極的な工事進捗は難しいです。

問 現在の状態では、国道と町道と重複して認定することに

答 県は長板公民館から長

板橋の間を、町は公民館から国道9号までの間を維持管理します。

問 計画通り国道482号の長板バイパスが完成していない。将来の完成予定で町道認定するのはなぜか

答 工事採択を早めたい思いもあります。

企業会計決算を認定

6月定例会において、付託された2企業会計は、公立香住病院事業を文教民生常任委員会へ、上水道事業を産業建設常任委員会へ審査が付託されていましたが、8月の臨時議会で委員長よりそれぞれ審査報告が行われ、採決の結果全員賛成で認定しました。

病院会計

質疑

問 一般会計からの繰入額は

答 3億7百万円でその内1億2千2百万円の交付税算入がありますので、一般財源は1億8千4百万円です。

問 病院の経営改善に向けての取り組みは

答 ソフト面でいろいろ検討していますし、収入増がなかなか見込めない中で経費削減に向けての取り組みをしています。

文教民生常任委員会報告に対する質疑

問 3階部分を改造するにつき、起債を認めてもらうために、香住病院の経営健全化計画を策定する必要があるとのこと、そのためいろいろな条件が付されているようだが、現実に数億に上る不良債務を一般財源から投入する見込があるか疑問である。審議の中で議論したか

答 国や県との協議の中で平成18年度までの不良債務を5年間で解消すること、平成19年度以降の単年度収支の均衡を図ること、一般会計からの繰出金を確実に

するため誓約書をとれとの指導があつたとの事でした。一般会計からの繰出金を確実にするために債務負担行為を起すのかと質疑がありました。誓約的なもので良いではないかとの議論がありました。

上水道会計

質疑

問 未収金の額が前年度より増えている原因は、また徴収の状況は

答 増加原因は、滞納者の増加です。催告状や電話での催促をはじめ家庭を訪問して徴収を行っています。



問 平成13年度から6年連続で前年実績を下回っている、料金の値上げの検討が考えられるが

答 有収水量は減少している。しかし、未処理欠損金が約1千3百万円となり、料金の見直しの時期となっている。平成18年度、19年度で料金改定の検討を行います。

問 経年管は石綿管のことか付設替えはどの程度完了したか

答 石綿管だけではありま

せん。経年管は、下水道整備工事に合わせて実施しており、境工区が終了すれば付設替えはほぼ終了します。

問 降雪が少なく使用水量が減少したのは何を意味するか

答 今期の冬期間は降雪が少なく消雪用としての水の使用が減ったものと考ええます。水道課としては、水道水を消雪用として使用することは容認していませんが、現状は使用している家庭が多いです。

臨時議会

7月17日に臨時議会が開かれ、株式会社むらおか振興公社の第11期業務報告と株式会社美方和牛振興公社の第16期業務報告がありました。また、契約案件として香美町村岡有機センター増設工事の請負契約を審議しました。

むらおか振興公社

質疑

問 村岡ファームガーデンは順調に伸びているが、但馬高原植物園は大変厳しい状況である。その要因をどのように分析しているか

答 植物園の経営悪化の要因は、豊岡市のコウノトリフィーバーと余部鉄橋のツアー客の減少が原因だと分析しています。

問 むらおか振興公社は地域振興の活性化にどのような役割立っているか

答 村岡の特色ある資源を最大限生かす取り組みをしています。

また、地域の資源を提供することで、利益を得ますので活性化に役立っていると思っています。

美方和牛振興公社

質疑

問 累積赤字も大きいものがあるが、18年度はどのように取り組んだか。今後どのような解消に努めるか

答 コストの削減を図る中で経営改善を図ってまいりました。今後は、繁殖牛を30頭規模に整理して、受胎率の向上を図り、販売成績を上げて単年度収支を黒字にしたいと思っています。

問 30頭規模の繁殖経営を指しているが、経営が成り立つか

答 頭数を削減することで、人件費、飼料費等も削減しますので累積赤字が減少すると考えています。

問 このような経営状態で、今後も営業を続けるのか

答 30頭を前提として経営改善がとれないか十分検討してもらい、その上で赤字解消を図っていきながら、負債の額とか起債償還の終わる時期など総合的に考えて、方向転換を図っていきたいと思っています。



畜産業の発展に寄与

香美町村岡有機センター増設工事請負契約の締結

【提案理由】

但馬牛の増頭に伴い、ふん尿の処理能力向上を図ると共に、堆肥の品質向上に努め、資源循環型農業を展開するための増設工事です。

契約金額

1億1340万円

契約の相手方

石井建材(株)

代表取締役 仲村正彦

質疑

問 施設を増設することにより、堆肥の生産量が増えるが、堆肥の販売がうまくいかない場合、経営が非常に苦しくなると思うが

答 堆肥をほ場に散布する機械を購入しますので有効に活用して販売促進につな

げたいと思います。

また、村岡の有機肥料、堆肥を積極的にPRして効率的に販売します。

問 財政厳しい中、1億1千万円かけて増設をするが、製品から販売までの責任はどこがもつのか指定管理者と話し合いができていますか

答 堆肥の販売が滞り、施設内の在庫が仮に増加する状況になった場合、畜産農家等が責任を持って対応することを双方で確認しています。

反対討論

白岩安喜夫
小林利明

● 議案が工事請負契約であるが、運営母体が指定管理者である。事業の成功、失敗は携わる人によって決定するものである。

よって運営母体の検証を強く求める。

● 増設した施設が、受託者によって正しく発展の方向に向かうのか確認しなければならぬ。

一般住民が公正な議会運営を理解できるよう、ガラス張りの透明感のある内容にするためにも提案は見送るべきである。

賛成討論

今西 美憲

● 香美町の畜産を振興するためにこの施設が必要であることには全議員異論がないようである。また、指定管理者と請負契約者と同じように考えているが、まったく関係ない。

香美町の畜産の状況を考えると、一定の支援を行なうのは必要である。

賛成多数で可決しました



これで大丈夫 さらなる有効利用を

8月6日に開かれた臨時議会では、委任専決報告2件、給料減額に関する特例条例1件、過疎地域自立促進計画の変更及び平成19年度一般会計補正予算等を審議し、すべて原案通り可決しました。

おじろドームを改築 香美町過疎地域自立促進計画の変更

〔提案理由〕

小代区のおじろドームの雨漏りがひどく、過疎債を充当して改築するため、過疎地域自立促進計画に組み入れて取り組むためです。

質疑

問 財政状況が厳しい中で事業を進めるにあたっての優先判断は

答 ドームの雨漏りがひどく使用に耐え難いので、早急に改修が必要であるため、小代区の地域協議会の了解を得て、最重点課題事業の枠の中で取り組んでいきます。

問 合併協議の中での議論では最重点課題事業の財源は、合併特例債だったが過疎地域自立促進計画を変更して過疎債を充当することは、行政の計画性の点では疑問を感じるが

答 合併特例債は充当率が

95%、過疎債は充当率が100%なので一般財源を軽減できる点と県との協議の結果、事業の性質上、妥当でありますので対応します。

問 施設の設計は、自然環境を理解しない人達が設計している。今後このような工事の設計について今までどおり但馬や香美町の自然環境を知らない業者も含めて対応するのか

答 その施設の規模、内容にふさわしい設計能力を持った業者であって、地域における施設対応が出来るかどうか十分考慮して業者の選定をしていきます。

平成19年度一般会計補正予算

〔提案理由〕

過疎地域自立促進計画の変更に伴うおじろドームの改築事業を行うための補正予算です。

一般会計補正予算 での関連質疑

問 おじろドームの雨漏りはいつ頃からか、また平成11年度にも防水修理がされており、設計管理に問題があると思うが

答 雨漏りは平成15年度頃からです。また防水修理は、事務所、玄関等のコンクリート部分の整備をしました。

問 おじろドームの屋根改修の工事内容は

答 フッ素樹脂鋼板を使用し、現在の上に覆い被せる工法で行います。

請願・意見書を採択

香美町の高校教育を守る請願

日韓新漁業協定下における 漁業管理体制の強化を求める意見書

平成11年1月、日韓新漁業協定が発効し、日韓の新海洋時代が始まってから8年余が経過したが、我が国の排他的経済水域（EEZ）は、暫定水域を除いて、一部水域が韓国漁船の操業区域として許可されているため、依然として韓国漁船との漁場競合による漁具被害や海上トラブルなどが発生しているうえ、我が国排他的経済水域（EEZ）で許可されていない韓国漁船が暫定水域から越境して操業しており、韓国漁船の無秩序操業による資源の枯渇が懸念されている。

ついては、日韓新漁業協定下における漁業管理体制の確立と体制を強化されるよう、次のとおり要請します。

記

1. 監視・取締体制の強化

我が国の排他的経済水域での操業が許可されていない韓国漁船の違法操業に対して、一層の取締体制の強化を図るため、航空監視の強化、巡視船の整備配置など、取締に係る機器拡充と人的配置を強化し、監視・取締体制強化を図られたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年9月18日

衆議院議長 河野 洋平 様
参議院議長 江田 五月 様
内閣総理大臣 安倍 晋三 様
農林水産大臣 若林 正俊 様
財務大臣 額賀福志郎 様
外務大臣 町村 信孝 様
兵庫県知事 井戸 敏三 様
兵庫県議会議長 山口 信行 様

兵庫県香美町議会議長 森 利 秋



回収された違法操業の漁具

請願者 香美町連合PTA会長 秋 山 貴 之
香住高等学校PTA会長 田 中 一 行
村岡高等学校PTA会長 井 上 正 則

1. 件 名

香美町の高校教育を守る方策について

2. 請願の趣旨

- (1) 香住高校・村岡高校を存続させること。
- (2) 地域の高校を守り育てるため、また地域の子もたちが希望する地元の高校に進学できるよう、南但北但の学区と連携校方式の選抜方法を現行どおり維持すること。

3. 請願の理由

但馬の小・中・高等学校では過疎と少子化が進み、統廃合の計画が推し進められています。高等学校については、兵庫県教委委員会は、2000年度より県立高等学校教育改革第1次実施計画を実施し、そのうち前期計画では、豊岡南高校と豊岡実業高校を統合し、豊岡総合高校を発足させ、後期計画では浜坂高校温泉校の廃校、今年8月には八鹿高校大屋校の生徒募集停止と廃校を決定しました。現行の学級編成基準の1学級40名を機械的に当てはめれば、今後、香住高等学校・村岡高等学校の存続も困難になることが予想されます。

さらに兵庫県教育委員会は2009年度から5年間で第2次計画を実施します。現在、県教委事務局が具体案を作成しており、その最終報告が今年度中に行われます。もし但馬1学区・複数志願選抜ということになれば、受験競争にさらに拍車がかかるだけでなく、地元の生徒がはじき出されて遠距離通学を余儀なくされ、本人・保護者の精神的・経済的負担は間違いなく増大します。さらに時間的な余裕もなくなり、子どもたちの自主的な活動（部活動等）も低調にならざるをえません。

ただでさえ、都会に比べて多くのハンディを持つ児童・生徒から教育の機会均等を奪うのは筋違いです。教育に過疎があつてはなりません。また、学校が地域の活性化のために果たしている役割も失われ、過疎化を一層進めることにもつながります。

このような事態を踏まえ、兵庫県教育委員会をはじめとする関係機関に意見書を提出していただきたくお願い申し上げます。

以 上



工事請負変更契約を可決

町道市原黒田線道路災害復旧工事において、切土を行つたところ、西側斜面において地下水の湧出とこれによる法面の崩壊があつたため工事の変更契約を可決しました。

一、契約の目的

町道市原黒田線道路災害復旧工事

二、契約の相手方

石井建材(株)

代表取締役 仲村正彦

三、契約の内容

請負金額

「1億185万円」を

「1億1204万円」に変更

決算特別委員会を設置

平成18年度香美町一般会計および12の特別会計を審査するため9名の議員で決算特別委員会が設置され、審査を付託されました。

委員長 西村 伸一
副委員長 浜上 勇人
委員 西川 誠一
後垣 晶一
吉田 増夫
長瀬 幸夫
西坂 秀美
吉田 範明
川端 政明

委員会視察報告

議会広報特別委員会

委員長 長瀬 幸夫

坂町議会広報を視察研修

親しまれる広報紙をめざし

8月23日、広島県坂町議会を視察し、議会広報の編集について研修をしました。坂町は広島県の南西部、広島市と呉市の間に位置し、総面積15・65²km²で人口が約1万3千人（3月31日現在）の町です。

坂町は18年度の町村議会広報全国コンクールにおいて、総数204紙の応募の中で優秀な広報として入選されており、現在100号の発行に努めています。

町民の皆さんに親しまれ読みやすく

紙面は、町民の皆さんに親しまれ読みやすくを課題として取り組まれており、広報に住民が参加することによって関心を持って読んで頂くように色々な工夫をされております。

小学校六年生の

議会傍聴の感想文を

企画記事として、町内三小学校六年生の議会傍聴に

よる「子どもたちの目からみた議会」として感想文を載せております。親子で関心が高いことです。

また「議会クイズ」として、広報の中より、出題して記事に関心を深めていただく工夫と応募用紙に議会への要望・意見等を書いていただき、町の声として取り上げていきます。

99号より議案審議に質疑・答弁者の名を

99号より議案審議に対しても、質疑、答弁者の名を入れ「誰がどんな質疑を」「誰がどんな答弁を」審議の過程がより良く分かるように積極的な取り組みをしています。

広報委員長の「町民に読みやすく、分かりやすい、住民重視の取り組みで、賞は後からついて来るものだ」と力説されたことが理解できました。

お互いに活発な意見交換の中で「町民が積極的に参加し、親しめるための編集は何か」を研修でき有意義な研修を終えることができました。



議会広報特別委員会は、「かみ議会だより」を編集発行する目的のために設置された特別委員会です。

人権擁護委員

人権擁護委員の任期が満了しますが、引き続き同人の推薦に同意いたしました。



香美町村岡区村岡723番地
たなかもと ひこ
田中基彦さん



香美町香住区一日市375番地の2
はたなか きよし
畑中清司さん

議会傍聴に町のマイクパスが利用できます。

町内の団体等で概ね15人以上で議会傍聴を希望される場合は、マイクパスが利用できます。

利用条件等

- ① 特定の議員の後援会等は利用できません。
- ② 利用日の10日前までに議会事務局に申込みして下さい。
- ③ マイクパスがあいているときのみ利用できます。
- ④ 利用できる時間は、午前8時30分から午後5時です。
- ⑤ 詳しいことは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

町政を問う

9月定例会での一般質問は、9月11日と13日に12名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



院内開業も財政改革のひとつ



観光の拠点として期待

10年先の町行政の健全化に向けての取り組みが進め



岡田 公男 議員

行財政改革と事業、町民対応は 財政健全化に3年間で道筋を

られている。行財政改革を、今時どのようにとらえているのか。成果はどのようにあらわれているのか。

さらなる改革が必要では
ありませんか。必要とする
ならば、何ですか。行政、
財務、機構改革は。

面積369.08km²と広

町長 財政健全化に3年間で道筋をつけ、人件費を削減し適正な職員で業務を行ないます。上下水道料

範、気候も異なる地域差をどうとらえて、町民の福祉向上、生活基盤安定に行政推進されるのか伺う

力を行います。

気象が大きな地域差と思
います。道路、施設整備対
応できていると思っており
ます。高齢者の除雪支援、
光ファイバー、地上デジタ
ル対策、携帯電話等不便を
完全に均一化はできないが
可能な範囲で埋めていく努

金の改定、国保税、介護保
険の一本化、香住総合病院
の経営健全化に取り組みま
す。



寺川 秀志 議員

しおかぜ香苑を観光の拠点に 観光に役立てる取り組みをしたい

今年の夏は、記録的な猛暑となり但馬の海水浴場は、例年にならない賑わいになったと聞いているが、今年の夏の香美町の状況をどのような把握し総括しているか。

また、しおかぜ香苑とその付近が整備され香美町の観光拠点として観光客の増加を期待するところである。今後の観光振興策として、しおかぜ香苑を生かす施策を講じて香美町への観光客の増加を図るべきと思うが、町長の所見を伺う

町長 ●夏の総括としては、海水浴場ごとの特色をさらに伸ばすための工夫

を関係者と十分協議しなければと感じています。●しおかぜ香苑の活用は、貴重な大きな広場を観光に有効に使ってイベントを行いたいと思っています。そして、海ならではの新しいイベントになればと思いつながり組みをしているところとです。

積極的な活用を図りながら観光のために大いに役立つように考えています。

積極的な活用を図りながら観光のために大いに役立つように考えています。



治水対策は大丈夫か

森谷川・香住谷川が氾濫すれば公の施設機能は麻痺し、災害が多岐広範に及ぶことは必至だ。
また、治水計画や防災対応の現状が不明で沿線の住



小林 利明 議員

町長 基本部分である規模の見直し、加えて、財政上の問題もあり計画策定

森谷川・香住谷川が氾濫すれば公の施設機能は麻痺し、災害が多岐広範に及ぶことは必至だ。
また、治水計画や防災対応の現状が不明で沿線の住

規程の見直し、加えて、財政上の問題もあり計画策定

防炎管理体制については、水位計測地点、避難勧告時期の設定や庁舎水槽、一中グラウンド遊水等の対応マニュアルを定めて具体的な訓練を実施しています。

が年度内にずれ込む見通しです。
そうした不確定な現状等もあり、住民に説明をしていません。ご指摘を踏まえ、現時点で把握している状況を説明します。

現状が不明。住民は不安だ！ 把握している状況を説明する

民さんは、大変な不安を抱いておられる。

6月議会で前向きに答弁された住民さんへの現状説明を何故できないのか

また、関係職員の防災管理意識徹底の取り組みと警戒など具体的な対応はどのようにしているのか



改修をせまられる屋根

香住区のB&Gプールの鉄骨に比べ、村岡区のB&



上田 勝幸 議員

村岡B&Gの屋根の取り替え工事は 近年度中にはいたしません

Gのプールの鉄骨の傷みがひどく、近年度中に屋根の取り替え工事をするとのこと。小代小だけは設計ミスによるものか、プールが利用できない状況にあり、もし改修となれば1億数千万円かかるとのこと。財政の厳しいこの時機に村岡B&

教育長 香住のB&Gプールはどぶづけ塗装の鉄骨が使われ、長持ちするよう工夫されていたが、村岡の

Gの屋根の取り替え工事は賢明妥当な策か、屋根がなくてもプールとして機能すると思うが

今の財政事情を考えると、屋根を取る、取り替える、いずれにしても金がかかるので、当分は現状のままの維持管理でいきます。

B&Gの方はそのような鉄骨が使用されていません。又塗装の仕方も違い、傷みに差異ができたものと思います。屋根がなければ、水温調整等難しく、風・雨等も考慮しなければならず、利用者は減ります。



維持管理費の増大が懸念されるが…

公共施設の計画的な維持管理を

今年度中に体制を整えたい



吉田 範明 議員

従来から一般的に公共施設の維持管理については、

壊れたら修理する。住民からの苦情で修理するという対症的な対応だった。これからは、現存している施設をいかに適切に維持管理、計画的な点検・補修を実施し、長く使用する（延命化）必要があると思うが

町長 現状は、担当部署で、日常における施設点検を行い、緊急性の高いものをその都度対応しています。少し、中長期的に判断する部分について欠ける点もあると反省しています。今後は、担当部署が同じ基準で取り扱う一定の共通

統廃合についても考慮する必要はないか
町長 マニユアルの中にも統廃合について判断する時期・基準を作り、判断するということにしていきます。

マニユアルを作り、全体的なチェックを年一回ぐらい総務課が行う仕組みをでき得れば今年度中には、作りたいたいと思います。



急げバリアフリー化

公共施設のバリアフリー化を急げ 利用度の高い施設から進めている



川端 政明 議員

身体障害者（児）や高齢者の人権を保障する上で公共施設のバリアフリー化は重要である。選挙の投票所に段差があるため、車椅子もままならず投票に行かな

いという人もおられる。
(1) 町内の整備状況と今後の整備計画はどうか
(2) バリアフリー化を急いでやるべきと考えるがどうか

町長 (1) 学校施設（17施設）出入口スロープは2校を除いてできています。車椅子用トイレは4校ができていません。内2校は身障者用の簡易トイレで対応

しています。（※他の施設についても具体的に詳しく説明があったが、未整備の施設がまだまだある。）
(2) 福祉のまちづくり条例で対応することになっています。たくさんさんの町民の皆さんが利用される会館等を優先して整備を進めています。投票所の問題は総点検をして、次の機会までに問題がないようにします。



町民の交通手段の確保を！



ごみ処理は早急の課題です

少子高齢化が進む中で、
限界集落が話題になってい



長瀬 幸夫 議員

限界集落をどのように考えるか 十分に対応していく問題と認識

る。17年の国勢調査で香美町の65歳以上が50%を超える集落は9集落、40%以上では25集落になっている。交通問題では福祉タクシーのようなものが必要に思う。

通信体系はテレビだけでなくトータル的に見越し災害を路線バスのないところ

町長 小代区は町民バスを村岡区では福祉タクシーを路線バスのないところ

を走らせていますが拡大するかどうかというふうなことが課題です。デジタル化の問題は3万5千円を超した分は国、県が対応し、足りない分を町で、と県に要望しています。医療については足の確保が問題です。診療所の往診とか訪問診療を重点においていくことが必要に思っており、システムの充実をしていく努力をします。



柴田幸一郎 議員

北但ごみ施設の候補地選定は 来年3月に候補地を選定する計画

①日高町上郷地区の受入れ拒否の原因はなぜか
②候補地選定方式が示されるがどんな方式が良いか
③香美町域内に選定された場合の町の考えを問う

④定例記者会見で運搬効率上鳥取県境の山間部は駄目と事実上反対報道があった選定からはずすのか
⑤北近畿豊岡自動車道の早期完成は運搬デメリットの解消になるか
⑥万一選定に失敗すれば現3施設で対応するのか

②直接選定方式・選定委員会方式・公募方式の3方式の中から決定します。
③香美町域内で選定されれば全力で取り組みます。
④単純に考え方の例として申し上げます。
⑤自動車道の早期完成は、ごみ処理経費が安くなるので場所選定に当って十分検討していきます。
⑥失敗は考えず一本化の方向に進めます。

町長 ①生活環境・自然環境の影響、施設建設が3度目であると考えます。



こころのバリアフリーをめざして



老健施設へのスムーズな移行を

精神障害者のいる家庭では「一般市民が精神障害者



古岡 菊雄 議員

精神障害者への支援策を 経済的支援は県に強く要望します

は怖いものというイメージ」を持っているので、誤解や偏見の中で、表に名乗り出ないで悩み苦しんでいる。地域の偏見をなくする方策はどうしているか。

また精神障害者は通院や時には入院し経済的にも非常に困っている人が多い。

経済的支援で他の障害者や近隣の市町と差はないか

町長 精神障害者に対する誤解や偏見をなくする啓発活動として、精神保健の普及訪問や悩みの相談を通じて制度の普及促進を図っています。また但馬地区

精神保健福祉研修会等に多くの町民に呼びかけて参加していただき、誤解や偏見をなくしていきます。

経済的支援では、他の障害者や近隣の市町と差はありません。ただ重度心身障害者介護手当ては、県の制度で精神障害者は対象になっていませんので県に強く要望していきます。



西坂 秀美 議員

老健施設整備計画は万全か 収益も見込め、4月からスタート

香住病院3階の老健施設への転換のための施設整備や運営について、アドバイザー会議でどのように評価しているのか、経営指導はどうだったのか。開設に伴

う収支見通しや、整備の方向性の検討を終えての結果はどうであったのか。

スタッフをきっちりそろえて4月からスムーズなスタートを願う。そうすることにより病院の経営改善も図れると思うがどのように考えるのか

町長 アドバイザー会議の中でほぼ妥当な計画で、経営改善に大いに推進すべ

き内容であるとの示唆をいただいております。老健施設で約5000万円ぐらいの新たな収益を想定しております。

職員の関係では入所定員を49人と想定しており、看護師は5人、介護士は11人から12人と思っております。老健整備の状況が、2月には訓練、3月には体制が整うと考えております。



老後の生活の安定・安心を

来年4月から65歳〜74歳の高齢世帯の国保税を年金から天引きできる。
75歳以上の者は別立ての保険制度とし、月一万五千円以上の年金受給者から保



山本 賢司 議員

年金から天引きでくらしこわすな 負担の公平のために当然やる

険料天引き、払えなかったら、保険証取り上げ、と予定されている。「一日五百円でくらし」では、長寿を喜べない。県高齢者医療広域連合の事務費を県に出させ、国・県・町の補助で負担をおさえる。低所得者等の保険料軽減等で、老後の生活を安定させ、安心してもらうことが大切だ

町長 国保税の天引きは、

来年10月から予定しています。後期高齢者医療に関しては、財政のバランスも考えたいし、まだ、不明確な点が多くあり、答弁は保留します。年金からの天引きについては負担の公平との観点から、当然やるべきだと考えます。
議会の皆さんにもご意見を賜り町を代表してその議会で意思表明をします。



集落営農の座談会



吉田 増夫 議員

また、食糧生産の基盤として、土地保全、環境保全

中山間農地の今後は 今後を見据え、積極的に取り組む

等、大きな役割を果たしている農地が、集積農家を含め農業従事者の高齢化により、新しく荒れようとしている。

中山間農地のみならず平坦農地を守るために、直接支払い制度の終るまでに、集落営農の推進とオペレー

ター部会の強化、農業に意欲のわく政策が早急に必要と思うが町長の考えを問う

町長 現在集落営農については、J A、農業普及センターと一緒に取り組んでおりますが、農地保全の観点からも、直接支払い制

度が終るまでに、終った後を見据えた対応を、J A、農業普及センターと連携を図りながら取り組んでいかなければならないと思っております。

そのために、オペレーター組合の支援については、協力をお願いする上で、廃止していただきました支援を、もう一度考え直す必要もあると思っております。

二人三つあり

(村岡区)



今回は、八千北観光協会の理事長として、また西村工務店(株)の社長としてご多忙の西村昌樹さんに八千北観光協会等について話を聞かせていただきました。

苦勞が報われたことは

やはり、八千北を訪れていただく、お客様がまた八千北に来たい、八千北のファンになっていただくことが最大の喜びです。

今後の活動目標は

自然再生法に基づき、氷ノ山周辺地域保全・再生活動協議会が発足しました。豊かな自然そのものが八千北の売りですが、人がうまく管理し、自然をとりもど



ザゼンソウ

していきながら、さらに八千北の魅力を高めていきたいと考えています。また、八千北の自然を活用した事業(自然体験)を創造し、お客様に提供していきたいと思えます。

八千北温泉との連携

八千北の魅力向上のために、温泉の活用は不可欠であると考えます。協会員の中には八千北温泉の組合員も多数いますので、お互いのメリットをうまく出し合いながら、お客様に提供していきたいと考えます。また八千北のイベント等で八千北温泉の入浴券などを活用して、利用推進に努めています。

八千北観光協会の足跡

八千北観光協会は、昭和42年に澗川平自然協会として発足した。翌年、八千北高原自然協会に改称する。会員は大笹区全戸から1名登録し、2世代を中心として現在47軒で構成されている。

目的は、八千北高原の大自然の活用と、健全なナチュラリストを育成し、会員相互の親睦を図りながら、社会的活動を支援すること。その後、平成16年に法人格を取得した。正式名を有限責任中間法人八千北高原自然協会と称する。活動としては、観光案内業務、各種イベントの企画運営や八千北高原のPR、そして駐車場の運営等を行っている。また、運営費は、会費2000円と冬季駐車場収入や営業者からの分担金で賄っている。

なお、その他としては、グリーンパーク(キャンプ場、グラウンド)の指定管理者制度にもとづく管理業務も手がけるなど、年間を通して幅広く活動している。

行政に対して何かありましたら

『国が何かをしてくれるかではなく、国のために何ができるのかを問うてほしい』

(ジョンFケネディ)

ともすれば、私たちは狭い視野で考えがちですが、地理的、財政的に同じようなところでも魅力的な活動を行っているところはたくさんあるはず。私たちがもそうだったことには積極的に情報収集を行っています。

行政の立場から、先進地の取り組みを情報収集し、その情報を提供してほしいです。

いかに補助金を引っ張ってくるかではなく、どうすれば自立の道を歩めるかもっと真剣に議論し、行動してほしいと思います。

特区制度など、行政の仕組みを変えることで、活力を生み出せることがあるはず。

編集後記

厳しい残暑も終わり、朝夕、何かにつけ、すがすがしい気配の感じられる好季節を迎えています。店頭では、海の幸、山の幸が所狭しと並び、それを買い求める顧客の目を楽しませていきます。また、街では、秋の風物詩の一つである祭りが各地で盛大に繰り広げられています。しかし近年、少子高齢化の影響をもろに受けるせいか、神輿(みこし)の担ぎ手が少なく、台車の必要性さえ云々される次第。時代のすう勢には予期できぬことと多々あると思えますが、人というものは、人との交わりの中で、生き、生かされているという信念さえ保持できれば、人の世の情、人の心というものが分かります。殺ばつとし、また、ぎくしゃくとした世相に一陣の涼風を送ることができると思いますが、(U)

編集発行責任者

議長 森 利秋

議会広報特別委員会

- 委員長 長瀬 幸夫
- 副委員長 上田 勝幸
- 委員 西川 誠一
- 委員 寺川 秀志
- 委員 古岡 菊雄
- 委員 西村 伸一
- 委員 吉田 範明